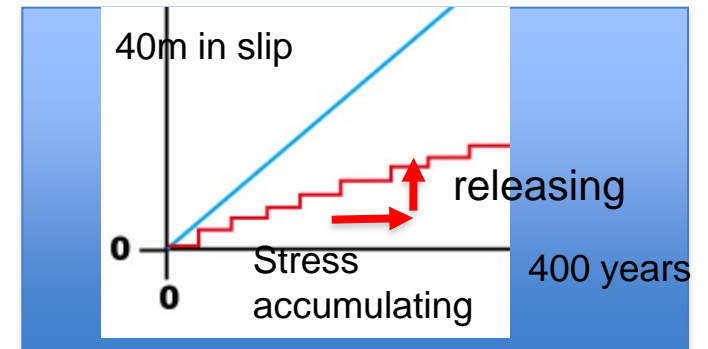
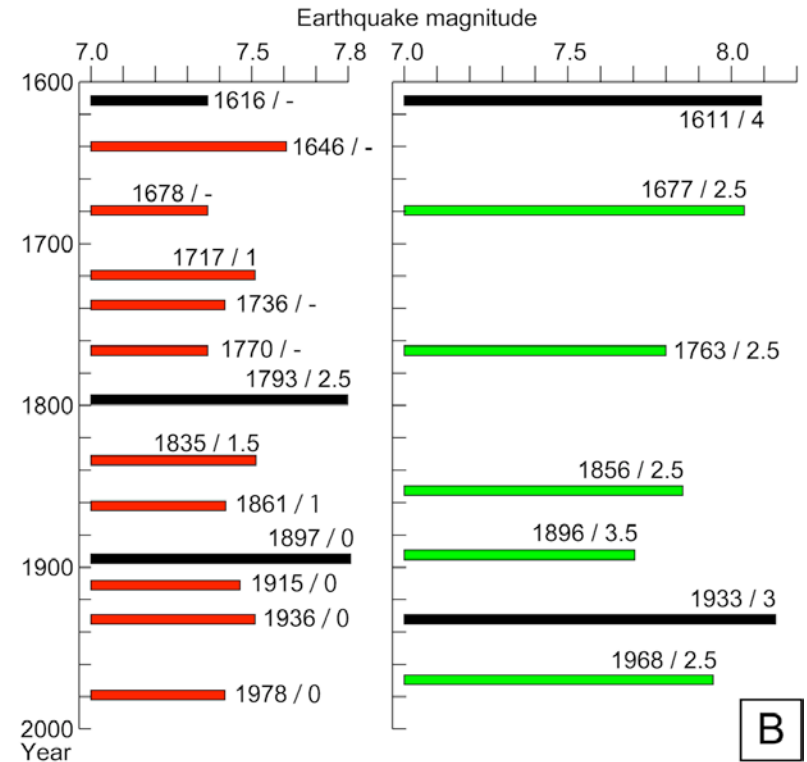
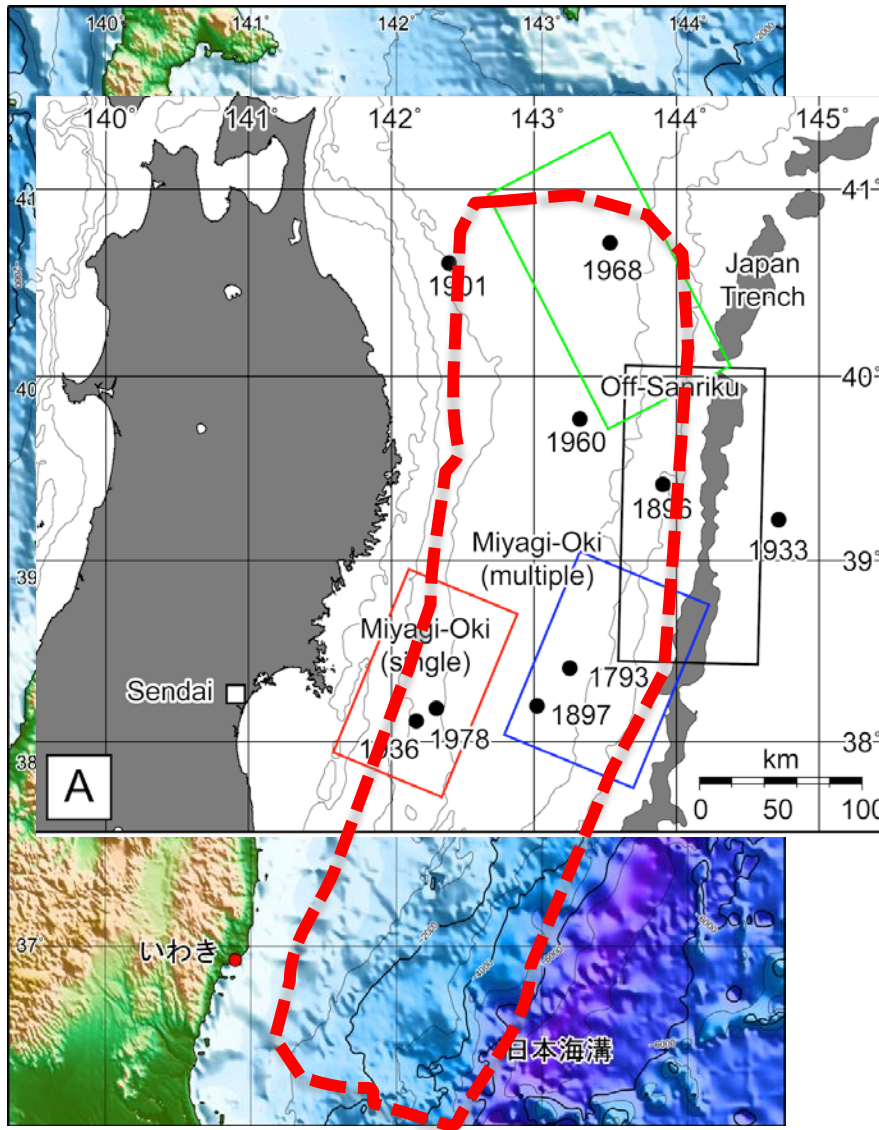
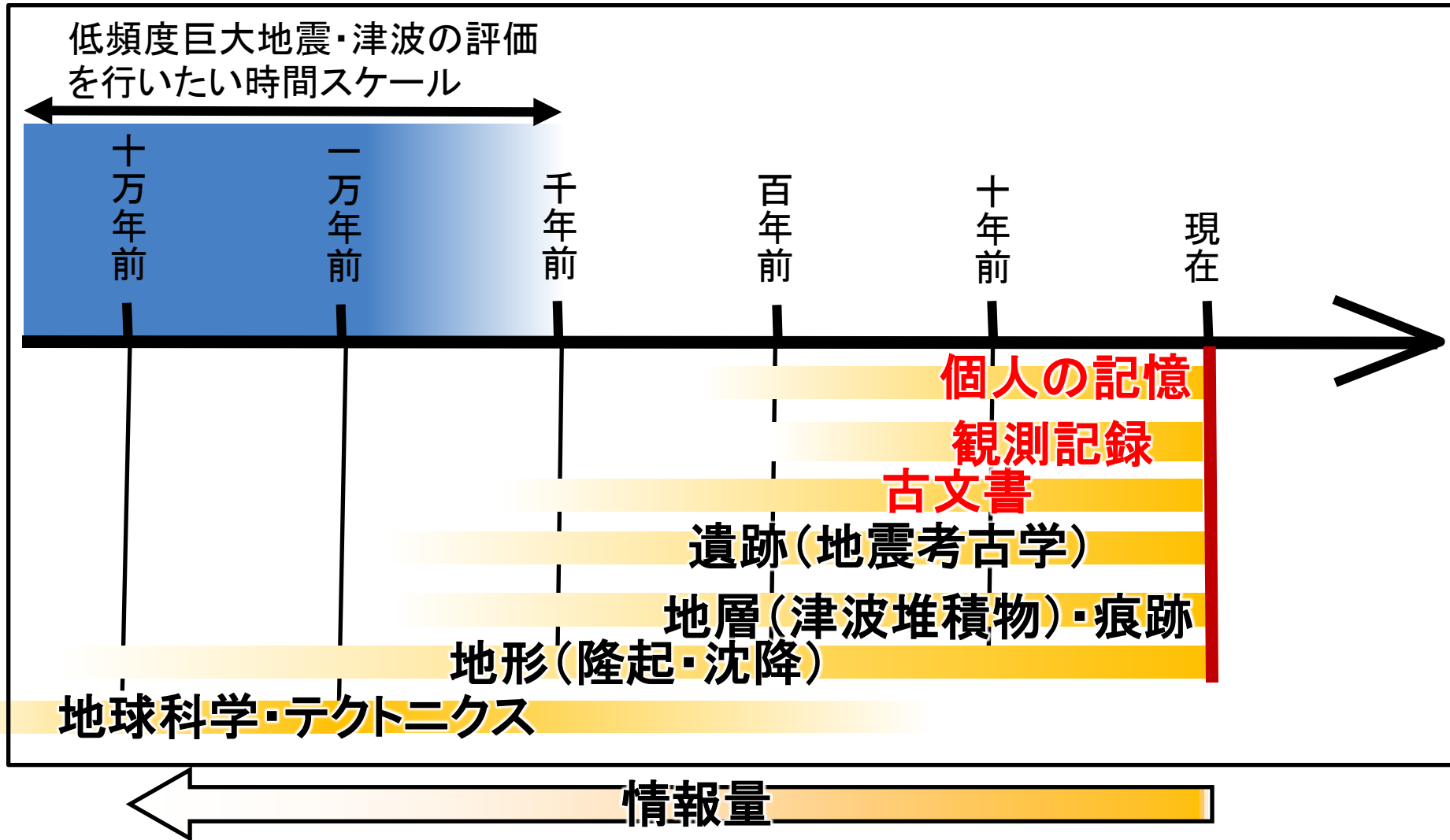


Historical tsunamis in Tohoku for 400 years and the 2011 Tohoku Eq.



- T.Hatori, Distributions of Seismic Intensity and Tsunami of the 1793 Miyagi Oki Earthquake, Northeastern Japan, *Bulletin of Earthquake Research Institute, University of Tokyo*, 62, 297-309 (1987).

学際的研究が必要な古地震・古津波の実態解明



情報量が豊富な現代・近代・歴史時代から遡るにつれて情報量が減少。



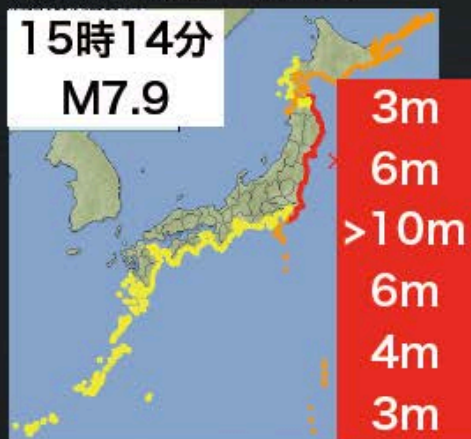
2011東日本大震災



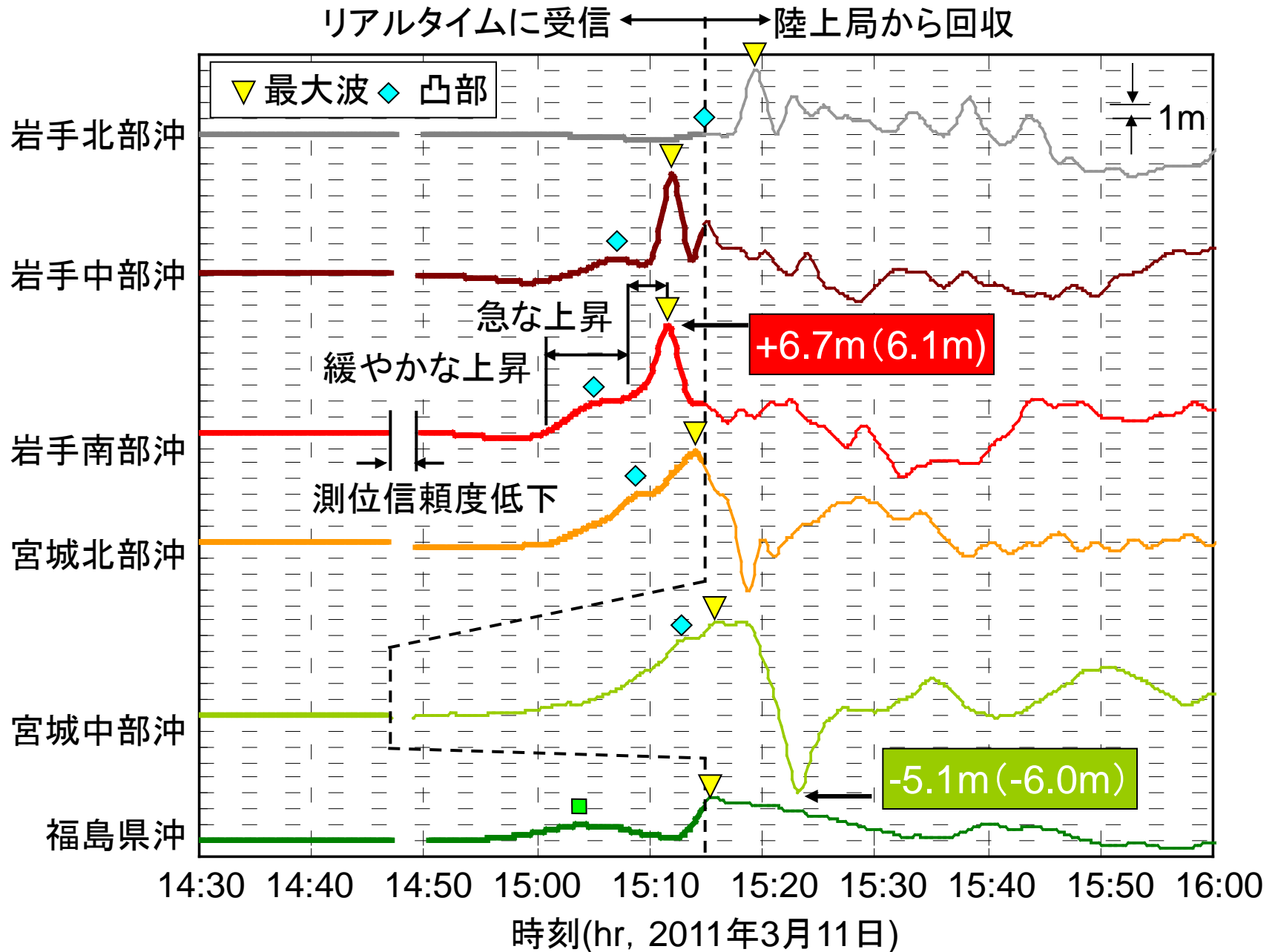
869貞観地震津波(宮城県沖+明治地震タイプ)

地震発生：3月11日14時46分頃， M9.0

津波警報 大津波 高いところで3m程度以上 津波 高いところで2m程度
 津波注意報 高いところで0.5m程度 × 震央



第1波の「緩やかな上昇」と「急な上昇」



2011年東北地方太平洋沖地震津波

0hr00m00s

震災当時の地形再現
初期潮位はT. P. -0.36m

二線堤による地形想定
初期潮位はT. P. +0.64m



国連防災世界会議へむけて

ロジ:

東北大学として仙台市に対して全面的に協力し、ホストの一役を担う。キャンパスの一部も会場に提供。学生ボランティアによる会議の運営サポート。その他。

サブ:

- 日本政府の準備企画に参加。確たる科学技術に基づいた防災政策の提言を(シンクタンク機能の発揮)。
- 兵庫行動枠組みのレビュー(ポストHFAにむけてのメッセージ)を災害研として東日本大震災からの知見を交えながら英文の報告書としてまとめる。暫定版は10月に作成。
- 被災地からのメッセージの発信。地元、被災地の声をどのように会議のプロセスに盛り込んでいくかを産官学民の連携で検討。東北の復興のためにという視点も。
- 産官学民の連携での分科会やイベントへの参加や企画

国際マルチ連携の基本方針

- 科学的知見や教訓から**政策提言**へ（評価：政策文書として盛り込まれる）
- 政策提言から**国際標準化**へ（評価：国際標準として用いられる）
- **現場での実施・応用**（評価：プロジェクトとして用いられる）
- **実証**（評価：実際の災害時に効果を発揮する）